

〇〇を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	GLP-1 受容体作動薬が肥満合併 2 型糖尿病患者の心血管疾患発症リスクに影響する機序解明:心臓 MRI を用いた前後比較研究
当院の研究責任者 (所属・職位)	該当施設の責任者名記載
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	鍋田 健, 北里大学医学部循環器内科学診療講師. 中田 圭, 札幌医科大学医学部循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座・助教. 中西 理子, 東邦大学医学部医学科・循環器内科・准教授. 相川 忠生, 順天堂大学医学部附属順天堂医院・循環器内科・助教. 高村 和久, 順天堂大学医学部附属浦安病院・循環器内科准教授. 雫石 一也, 医療法人 峯昭会 さいたまセントラルクリニック・放射線科院長 該当施設の責任者は上記から除外する)
本研究の概要・背景・目的	2 型糖尿病および肥満は共に心血管疾患のリスク因子であり、近年 GLP-1/GIP 受容体作動薬はそれらのリスク低下に寄与する可能性が示唆されています。特に心臓の外側にある脂肪(心外膜脂肪)が心血管病の進行に関与していることが注目されており、本研究ではこの心外膜脂肪や心臓機能が、GLP-1/GIP 受容体作動薬(チルゼパチド:商品名マンジャロ)投与によりどのように変化するかを、心臓 MRI を用いて評価します。
調査データ 該当期間	2008 年 4 月 1 日から 2025 年 7 月 31 日までの情報を収集します。
対象となる患者さん	上記期間に 2 型糖尿病を有していて、BMI が 25 kg/m ² 以上でありかつ心臓 MRI を 2 回撮像しており(一回目から二回目の間隔は 6 ヶ月から 24 ヶ月の間)、GLP-1 受容体作動薬もしくは GLP-1/GIP 受容体作動薬を使用していない患者さん。
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2008 年 4 月 1 日から 2025 年 7 月 31 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データ、心臓 MRI データを利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	多施設共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へ提供します。心臓 MRI データは札幌医科大学へ送付し解析します。データの受け渡しはインターネットの十分にセキュリティが保証されているクラウドサービスを用います(Dropbox もしくは google drive) 提供元機関の名称及び機関長の氏名 該当施設の名称および機関長の氏名を記載
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日: 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、近藤記念医学財団研究助成金を使用します。研究に関する利益相反は、各施設の利益相反委員会にて審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

	<p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：該当施設の連絡先を記載 担当者：(フリガナ) 電 話：</p>
備 考	